

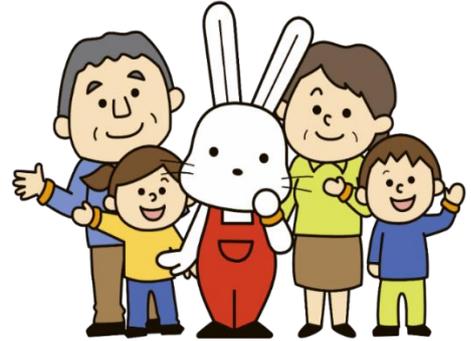
福島市認知症施策推進計画

福島市オレンジプラン 2024

すべての人が尊ばれ、生きがいを持ち、心豊かに、安心して安全に暮らせる長寿社会の実現

本市では、平成27年度から「認知症の人も周囲の人も安心して自分らしく暮らし続けることができるまち」を目指し、福島市オレンジプランを策定しています。

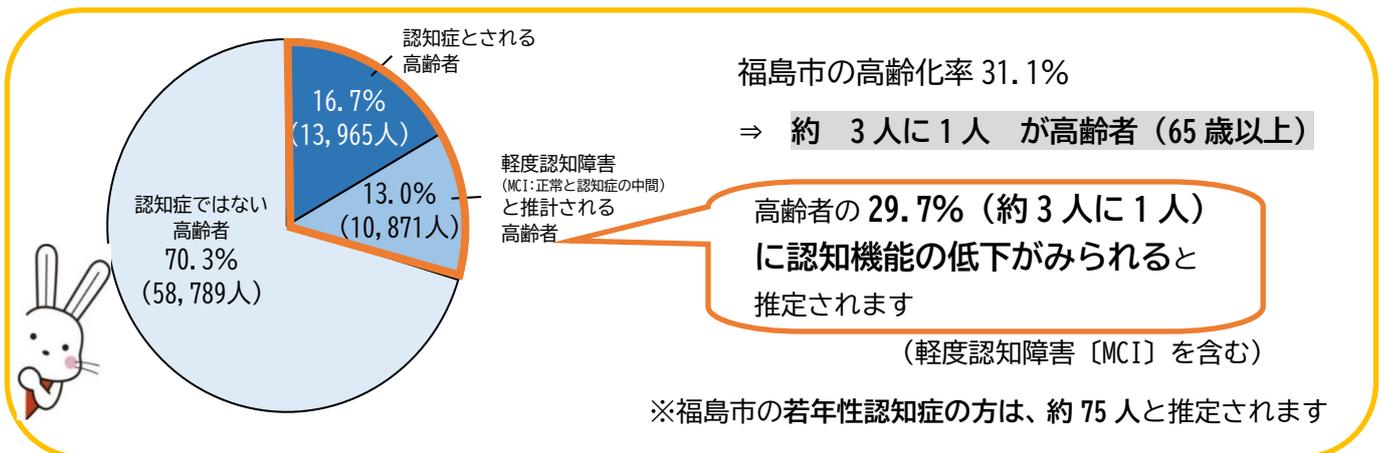
「認知症施策推進大綱」「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」に基づき、認知症の人を含めた市民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会（共生社会）の実現を推進するため、これまでの施策をさらに推進していきます。



基本理念を実現するための5つの視点

- 1 認知症の人の尊厳が保持され、地域の一員としてその人らしく暮らし続けることができる
- 2 認知症の人やその家族の思いを重視する
- 3 誰もが認知症について偏見なく正しく理解している
- 4 認知症になっていない人も予防及び早期発見のための手立てをとることができる
- 5 認知症のそれぞれの段階に応じて、切れ目なく公助・共助、地域住民やボランティア等による支え合い（互助）がある

〔福島市の現状〕



数値は福島市住民基本台帳・厚生労働省研究班の算出方法により算出 令和5年10月1日現在

福島市 長寿福祉課

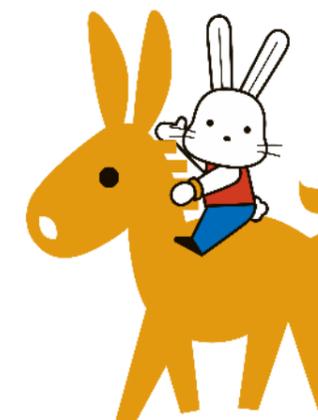
令和6年4月作成

福島市高齢者いきいきプラン 2024 (第10次福島市高齢者福祉計画・第9期福島市介護保険事業計画) より引用

福島市認知症施策推進計画 ～福島市オレンジプラン2024～ 具体的な取組内容

「本人・家族の思い」計画への反映（令和4年度 認知症の人と家族の実態調査より）

- 1 「認知症サポーター養成講座」等を通して、本人・家族のことばを伝えながら、認知症への正しい理解や対応方法を広める
- 2 かかりつけ医（もの忘れ相談医）や専門医療機関、地域包括支援センター等との認知症の早期診断・早期対応における連携体制を構築する
- 3 認知症カフェ等、本人や家族がそれぞれに気軽に語り合える場の推進
- 4 人とのつながりや付き合いを元気な時から構築する意識の啓発や地域づくり
- 5 本人や家族が望む地域の支えの実現・暮らしやすい地域づくりのため、地域の中で本人を支える人やしくみづくりの推進
- 6 若年性認知症への理解を広げるため、職域等での普及啓発



個別施策Ⅰ 認知症への理解に関する普及啓発の推進・本人発信支援

目標	取組内容	具体的な取組・事業	主な推進機関
1, 市民の認知症への理解を広げる	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代・職域・団体への普及啓発 ・認知症に関する相談窓口の周知 ・認知症の人と家族の実態の把握と発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、企業、学校等を対象とした認知症サポーター養成講座の開催 ・ポスター・ステッカーを活用した認知症サポーターの周知 ・認知症に関する学習会・認知症講演会の開催 ・福島市もの忘れあんしんガイドブック（認知症ケアパス含む）による啓発 ・世界アルツハイマーデーに合わせた普及啓発（認知症啓発イベント「ふくふくオレンジフェスタ」の開催、LINEを活用した発信等） ・福島市認知症の人と家族の実態調査「こころの声アンケート」の実施と活用 	福島市 地域包括支援センター 医師会 歯科医師会 薬剤師会 看護協会 認知症疾患医療センター 認知症初期集中支援チーム 福島県若年性認知症相談センター 教育委員会 社会福祉協議会 介護サービス事業所 認知症の人と家族の会 民生児童委員協議会
2, 本人発信支援の取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人と家族の実態の把握と発信（再掲） ・認知症の人がお互いの思いを率直に語れる場・聴く場の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・福島市認知症の人と家族の実態調査「こころの声アンケート」の実施と活用 ・本人ミーティングの開催 	地区組織 警察 金融機関 交通機関 商工会 企業 学校

個別施策Ⅱ 認知症バリアフリーの推進・介護者への支援

目標	取組内容	具体的な取組・事業	主な推進機関
1, 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症について気軽に相談できる場の確保 ・認知症になっても社会参加できる場・しくみづくり ・地域住民や企業による高齢者見守りの推進 ・認知症の人と家族の実態の把握と発信（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの周知と拡充、取組への支援 ・認知症サポーター活躍のしくみづくり（チームオレンジ）、認知症サポーターステップアップ研修の開催、キャラバン・メイトの活動の推進 ・認知症地域支援推進員の知識・技術の向上（新任期・現任期研修の受講等） ・各関係機関との情報共有・意見交換（委員会の開催、認知症の人と家族の会との意見交換等） ・認知症高齢者等見守り声かけ訓練の取組への支援 ・地域見守りネットワーク事業の普及・啓発 ・認知症高齢者等お帰り見守り事業の普及・啓発（身元確認 QR コードの配布と事前情報登録） 	福島市 地域包括支援センター 医師会 歯科医師会 薬剤師会 看護協会 認知症初期集中支援チーム 社会福祉協議会 介護サービス事業所 認知症の人と家族の会 民生児童委員協議会 地区組織 警察 金融機関 交通機関 商工会 企業 弁護士会 社会福祉士会 リーガルサポート（司法書士） 権利擁護センター
2, 家族介護者の負担軽減への取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症について気軽に相談できる場の確保（再掲） ・認知症の人と家族の実態の把握と発信（再掲） ・初期対応の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの周知と拡充、取組への支援（再掲） ・認知症の人と家族の会の周知 ・認知症初期集中支援チームの充実と関係機関との連携強化 	

3, 高齢者の虐待防止などの権利擁護の取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・詐欺等の高齢者被害の防止の啓発 ・成年後見制度の啓発及び推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・福島市高齢者虐待防止連絡会議の実施 ・市民への高齢者被害防止等の学習会の実施 ・認知症を有する方への虐待対応に関する意識調査の実施 ・権利擁護センター事業の啓発及び推進 	
--------------------------	--	--	--

個別施策Ⅲ 切れ目のない医療・介護サービス体制づくり

目標	取組内容	具体的な取組・事業	主な推進機関
1, 切れ目なく認知症治療を受けられる体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター（認知症地域支援推進員）、かかりつけ医、もの忘れ相談医、認知症サポート医、認知症専門医、認知症疾患医療センターの連携がとれる体制づくり ・専門職の認知症対応力向上 ・多職種間連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護の連携に関する研修会の開催 ・医師会による認知症対応力向上のための研修会の開催 ・在宅医療・介護連携支援センターを活用した多職種間の連携 	福島市 地域包括支援センター 医師会 歯科医師会 薬剤師会 看護協会 認知症疾患医療センター 認知症初期集中支援チーム 介護サービス事業所
2, 切れ目なく介護サービスを受けられる体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種間・地域のネットワーク強化 ・介護・福祉職の認知症対応力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の開催等による地域のネットワーク作り（地域包括支援センター・かかりつけ医・もの忘れ相談医・認知症初期集中支援チーム・関係機関・地域住民等） ・支援者対象の認知症対応力強化研修の開催 ・認知症地域支援推進員の知識と技術の向上（新任期・現任期研修の受講等）（再掲） ・在宅医療・介護連携支援センターを活用した多職種間の連携（再掲） 	在宅医療・介護連携支援センター 認知症の人と家族の会 民生児童委員協議会 地区組織 県北保健福祉事務所
3, 医療と介護の連携強化及び支援体制の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種間・地域のネットワークの強化 ・医師、歯科医師、薬剤師等の医療専門職と介護専門職の連携強化 ・認知症ケアパスの整備と啓発 ・地域資源の発掘と、資源の見える化による地域での情報共有 ・変化の気付きから診断・支援までの流れやネットワークの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の開催等による地域のネットワーク作り（地域包括支援センター・かかりつけ医・もの忘れ相談医・認知症初期集中支援チーム・関係機関・地域住民等） ・福島市もの忘れあんしんガイドブック（認知症ケアパス含む）の周知と活用 ・もの忘れ相談医 MAP や「福島市認知症の方への支援の手引き」（支援者向け）の周知と活用 ・地区版ケアパスの作成 ・退院調整ルール運用 ・退院支援・地域連携クリティカルパスや介護・医療連携シート等の活用 ・医師会と行政が協力した在宅医療介護連携の推進 ・在宅医療・介護連携支援センターを活用した多職種間の連携（再掲） 	
4, 発症以前より意思決定を行いながら将来を迎えることができる仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・発症以前より、将来の生活について本人が考え、意思決定することの重要性についての普及・啓発 ・本人の意思を家族を含む全ての関係者間で共有できる取組の推進 ・本人の意思と尊厳が尊重されながら、安心して将来を迎えることができる医療と介護を含む生活支援体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたしの人生ノート」の活用 ・市民向けミニ講座実施（わたしの人生ノート書き方講座等） ・意思決定支援に関する講演会・研修会の開催 ・チームオレンジの取組の推進 	

個別施策Ⅳ 認知症予防の推進

目標	取組内容	具体的な取組・事業	主な推進機関
1, 一次予防 (発症遅延や発症リスクの低減)	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防のための普及・啓発 生きがいづくりや社会参加の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 「いきいきももりん体操」やサロン等を通しての推進 (食事・運動・お口の健康など健康づくりに関する出前講座、介護予防教室の実施等) 	福島市 地域包括支援センター 医師会 歯科医師会 薬剤師会 看護協会
2, 二次予防 (早期発見・早期対応)	<ul style="list-style-type: none"> 本人・家族・周囲の人への早期発見の重要性の啓発 かかりつけ医・もの忘れ相談医による早期発見の強化 かかりつけ医・もの忘れ相談医を中心とした医療と介護の連携強化 初期対応の推進 認知症疾患医療センターの活用の推進 認知症について気軽に相談できる場の確保(再掲) 地域包括支援センター・かかりつけ医・もの忘れ相談医・認知症初期集中支援チーム・関係機関・地域住民等の連携強化(再掲) 変化の気づきから診断・支援までの流れやネットワーク構築(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> もの忘れ相談医の登録 福島市もの忘れあんしんガイドブック(認知症ケアパス含む)による啓発(再掲) 本人・家族の声を元に作成した早期対応啓発リーフレットの活用 地域住民、企業、学校等を対象とした認知症サポーター養成講座の開催(再掲) 認知症に関する学習会・認知症講演会の開催(再掲) もの忘れ相談医 MAP や「福島市認知症の方への支援の手引き」(支援者向け)の周知と活用(再掲) 認知症初期集中支援チームの充実と関係機関との連携強化(再掲) 支援者対象の認知症対応力強化研修の開催(再掲) 認知症地域支援推進員の知識・技術の向上(新任期・現任期研修の受講等)(再掲) 地域ケア会議の開催等による地域のネットワーク作り(再掲) 退院支援・地域連携クリティカルパスや介護・医療連携シート等(再掲) 	認知症疾患医療センター 認知症初期集中支援チーム 教育委員会 社会福祉協議会 介護サービス事業所 認知症の人と家族の会 民生児童委員協議会 地区組織 警察 金融機関 交通機関 商工会 企業
3, 三次予防 (重症化予防・機能維持・BPSDの予防)	<ul style="list-style-type: none"> BPSDの予防や適切な対応について、市民への啓発 介護者や専門職の認知症対応力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 福島市もの忘れあんしんガイドブック(認知症ケアパス含む)による啓発(再掲) 本人・家族の声を元に作成した早期対応啓発リーフレットの活用(再掲) 地域住民、企業、学校等を対象とした認知症サポーター養成講座の開催(再掲) 認知症に関する学習会・認知症講演会の開催(再掲) 認知症カフェの周知と拡充、取組への支援(再掲) 支援者対象の認知症対応力強化研修の開催(再掲) 認知症地域支援推進員の知識・技術の向上(新任期・現任期研修の受講等)(再掲) 	

個別施策Ⅴ 若年性認知症の人への支援

目標	取組内容	具体的な取組・事業	主な推進機関
1, 市民の若年性認知症への理解を広げる	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い世代・職域・団体への普及啓発 若年性認知症に関する相談窓口の周知 認知症の人と家族の実態の把握と発信 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民、企業、学校等を対象とした認知症サポーター養成講座の開催(再掲) ポスター・ステッカーを活用した認知症サポーターの周知(再掲) 認知症に関する学習会・認知症講演会の開催(再掲) 福島市もの忘れあんしんガイドブック(認知症ケアパス含む)による啓発(再掲) 認知症啓発イベント「ふくふくオレンジフェスタ」の開催(再掲) 福島市認知症の人と家族の実態調査「こころの声アンケート」の実施と活用(再掲) 福島県若年性認知症支援コーディネーターとの連携による推進 	福島市 地域包括支援センター 医師会 歯科医師会 薬剤師会 看護協会 認知症疾患医療センター 認知症初期集中支援チーム 福島県若年性認知症相談センター 社会福祉協議会 介護サービス事業所 認知症の人と家族の会 民生児童委員協議会
2, 若年性認知症の特性に応じた専門的支援ができる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> 医療・介護職等の若年性認知症対応力の向上 関係機関のネットワーク強化 	<ul style="list-style-type: none"> 支援者対象の若年性認知症研修会の開催 認知症地域支援推進員の知識・技術の向上(新任期・現任期研修の受講等)(再掲) 産業保健の担当者・担当機関との連携(相談先の周知等) 福島県若年性認知症支援コーディネーターとの連携による推進 	地区組織 企業 障がい者相談支援事業所 ハローワーク 障害者就業・生活支援センター
3, 居場所・生きがいづくり	<ul style="list-style-type: none"> 若年性認知症に関する現状・ニーズの把握 気軽に集え相談できる居場所の充実と周知 地域活動や就労など、社会参加へ向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 福島市認知症の人と家族の実態調査「こころの声アンケート」の実施と活用(再掲) 本人ミーティングの開催(再掲) 認知症カフェの周知と拡充、取組への支援(再掲) 福島県若年性認知症支援コーディネーターとの連携による推進 	

福島市もの忘れあんしんガイドブック (認知症ケアパス)

認知症のことを正しく理解し、早期発見や治療につなげていただけるよう、認知症の基礎知識や認知症の方への接し方、地域の相談窓口等の情報を掲載しています。

認知症について相談できる「もの忘れ相談医 MAP」も掲載しています。



認知症カフェ (オレンジカフェ)

認知症の方やその家族、地域住民や専門職がお互いに交流したり、情報交換などを行うことを目的に開催しています。参加者の体験談から学べたり、息抜きができたり、相談することで気持ちが楽になったりします。みなさんがホッと一息つける場です。



認知症地域支援推進員 (地域包括支援センターに配置)

認知症の方やその家族が地域で安心して生活できるよう、相談支援や関係機関の連携強化、認知症についての普及啓発などを行っています。

認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の方への接し方などを学びます。受講者には、オレンジリングをお渡ししています。



認知症の人と家族の実態調査

「こころの声アンケート」

認知症のご本人・ご家族にアンケートを行い、思いを伺って発信しています。認知症のご本人の気持ちを重視し、認知症施策に活かしていきます。

アンケート結果
啓発リーフレット
掲載先はこちら



▲こころの声アンケート啓発リーフレット

「わたしからのメッセージ」

認知症初期集中支援チーム

認知症の不安がある方やご家族に早期に関わり、医療や福祉につなぐ支援を集中的に行います。チーム員が家庭訪問などを行い、関係機関と連携を図りながら支援を行います。福島市は、あずま通りクリニックに委託しています。

わたしの人生ノート

～これまでの、そしてこれからのわたし～
最期まで自分らしい生活を送るためには、元気なうちから「これまでのわたし」を振り返り、「これからのわたし」を考え、家族等へ伝えておくことが大切です。その伝えた思いを書き留めておいたり、伝えるときの手助けになるのが「わたしの人生ノート」です。



認知症高齢者等見守り声掛け訓練～地域での日頃からの見守る力を高めるために～

認知症の方が行方不明になったという設定のもと、地域のネットワークを活用し、捜索の流れや実際の対応を体験します。地域住民、町内会、民生児童委員、地域包括支援センター、介護事業所、警察、行政などが協力し行います。

